

第 1 回委員会のまとめについて

「市庁舎への思い」及び「今後の進め方」のグループ討議の中で出された意見等を以下の項目に整理しました。

1. どんな市庁舎を目指すのか？

- 市民に親しまれる明るい庁舎
- 市民交流を生み、活動を支える庁舎
- 安全・安心の拠り所となる庁舎（防災拠点）

2. どこに建てるのか？

- 現在地
- 新川駅との合築
- 統合予定の小学校の跡地
- ときわ公園
- その他

3. どんな施設内容にするのか？

- ワンストップサービス（総合窓口）
- 他機能の併設（市民利用施設）

4. どんなつくり方にするのか？

- 環境にやさしい庁舎
- ローコスト・省エネ
- メンテナンスに配慮
- 駐車場のつくり方

5. どんなプロセスでつくるのか？

- 協働のデザインプロセス

1. どんな市庁舎を目指すのか？（理念）

○市民に親しまれる明るい庁舎

- ・市民から親しまれる庁舎
- ・市民が親しみやすく、信頼ある庁舎
- ・市民の誰もが利用でき、気軽に来庁できるところ
- ・市民の方(特に障がい者、高齢の方)が利用しやすい機能性のある庁舎
- ・市民が立ち寄りやすい庁舎および障がい者・高齢者にやさしい庁舎
- ・交通の便がいい、人が集まる市役所
- ・市民が集える所

- ・わかりやすい庁舎
- ・わかりやすい
- ・もっとわかりやすい、スムーズに動ける庁舎

- ・市民が利用しやすく、福祉的にやさしい明るい庁舎
- ・明るく、市民が利用しやすくできるように建ててほしい
- ・内部がもっと開放的で明るい庁舎
- ・明るい庁舎
- ・明るい・入りやすい庁舎

○市民交流を生み、活動を支える庁舎

- ・人にやさしい気軽に交流・連携ができる庁舎
- ・高齢者・子育て世代の交流スペース
- ・業務目的のみの利用ではなく、市民の憩いの場としても活用されるといい
- ・休日遊びに来ることができたり、観光施設としても活躍できる施設になるといい
- ・くつろげるスペース

- ・市民の活動が見える場所のある市庁舎
- ・まちづくりの拠点となりうる庁舎
- ・まちづくりへの連動・誘導できる空間を持った庁舎
- ・20～30年後、現在の30～40代は高齢化してくるが、高齢者数は横ばいか減少してくる。したがって、高齢化対策中心の市役所にはしてほしくない。むしろ若者が集える市街中心地として位置づけられる庁舎にしてほしい

- ・まちづくりの拠点になるような市庁舎を目指しているのであれば市庁舎と緑の公園と一体化した建物がほしい

○安心・安全の拠り所(防災拠点)

- ・安全・安心の拠り所となる庁舎
- ・災害に強い庁舎(防災拠点)
- ・防災拠点地
- ・災害に強い、対応した庁舎
- ・大災害時でも安全に使える堅牢性
- ・災害に強く市民に安心感を与える庁舎
- ・津波の時、屋上に避難場所を
- ・非常時の発電(太陽光・風力等)
- ・中心市街地での防災拠点と、宇部市の中心地となるような庁舎となればと思う

2. どこに建てるのか？

○建て替え場所

- ・市庁舎の建て替えが周辺市街地の活性化となるべく、現在地に建設していただくことを切望
- ・高齢者の人口が年々増えている、今の場所がバス停も近く利用度も高いのでは
- ・税務署をどこか(神原小と見初小の合併ならばそちらの場所)へ移設はできないか
- ・新川駅ビルの中に市庁舎、デパートの中に市庁舎
- ・新川駅、左右両方から乗り入りできれば、浜バイパス方面の活性化にもなる
- ・市役所と新川駅の統合
- ・現市庁舎の場所でなければ神原小学校の位置で。琴芝小との併合で可能性あるのでは
- ・小学校を統合して市役所としてはどうか

- ・現在地に建て替えるのは反対。現在地は新川市民センター(中央市民センター)の位置づけにして、主要な機能は常盤公園内に置くとよい
- ・駅前(新川駅、琴芝駅)+バスターミナルの設置
- ・琴芝駅前にあるシルバーふれあいセンター福祉会館の建物を転用して不足分の機能を建築しては
- ・どんどん賑わいのない現在の場所よりも、宇部が見渡せる高台に、新しい街をつくる感じで(市庁舎中心に)作ったほうが、市庁舎へ行くのも楽しそう
- ・市庁舎の建て替え事例で、周辺の活性化を実現できた他市を参考にできることは参考にし、中心市街地の核となりうる庁舎を建設してもらいたい
- ・場所：海拔が低い現在地は疑問

3. どんない設内容にするのか？

○ワンストップサービス(総合窓口)

- ・手続等ができる限り効率的になるように総合窓口等の設置
- ・総合案内所がほしい
- ・教育委員会は港町庁舎でこども福祉課は本庁舎となりとても不便なのでスムーズ化してほしい
- ・(本庁舎に)教育委員会がある
- ・案内表示の充実

○他機能の併設(市民利用施設)

- ・核としての機能を持たせて
- ・役所機能だけでなく求心力のある施設の併設
- ・新庁舎の中でミニイベントをやってほしい
- ・庁舎内で宇部の特産が購入できたり、食べられたりするスペースを設けてはと思った
- ・市民の集うコミュニティ広場の設置
- ・宇部市産品のショールームの設置

- ・庁舎と商業施設の合体(高層階にしてみても)
- ・商業施設の併設
- ・7、8階建てにして、1階を市民課等よく使われるフロアにし、最上階は食堂・喫茶等にする。また、小さな子供連れ、高齢者がくつろげる場所等の設置
- ・市庁舎を中心に、周りにどんどん新しい建物が建ち並んでいくというのはどうか？

4. どんなつくり方にするのか？

○環境にやさしい庁舎

- ・多機能で環境にやさしい庁舎
- ・環境にやさしい
- ・省エネを配慮した環境に優しく経済性に富んだ庁舎
- ・省エネ→自立型、将来性、建物自体でエコになるような
- ・エコまちを念頭に、交通機関とリンク
- ・地球環境を考える

○ユニバーサルデザイン

- ・障がい者・高齢者にやさしい庁舎(エレベーター・エスカレーター)
- ・バリアフリーを取り入れた庁舎
- ・トイレはウォシュレットで身障者用を多く作ってほしい
- ・市民が出たり入ったり(少なくとも週1回以上)できるように

○ローコスト・省エネ

- ・多額の費用がかかるのでできるだけシンプルな構造で、省エネで固定費の少ない建物にしてほしい
- ・低コスト庁舎(市の財源が確保できる範囲)
- ・建設コストの抑制(たとえばマンション併設)
- ・最低必要限度の庁舎。今後職員数はどうなるのか。分散するのか集約するのか。
- ・防災・賑わい両方を求めると財源の問題あり。公共施設のダウンサイズをしながら財源の確保

- ・ 予算の範囲内でスペース的にもゆとりある施設が好ましい
- ・ スマールタウンの中心となる施設
- ・ 建設費は72億円で18000㎡になるとのことだが、何階建てになるのか

○メンテナンスに配慮

- ・ 長期でもつ建物、メンテナンス性を高く
- ・ 長期的に利用できる市庁舎

○駐車場のつくり方

- ・ 駐車場を広くする
- ・ 庭を広く、駐車場を広く
- ・ 2階、3階、4階へと上れるよう
- ・ 本庁舎と現在の駐車場へと続けて渡り廊下等で行き来できるよう
- ・ 北側駐車場等との一体整備
- ・ 駐車場の確保(土・日開放など)

5. どんなプロセスでつくるのか？

○協働のデザインプロセス

- ・ 宇部市の様々な市民が市庁舎の建設を通して建てられる前も後もずっと関わっていけるような市庁舎にしていきたい
- ・ 宇部市民の皆さんが利用しやすい新庁舎を皆さんと一緒に話し合っていけばと思う
- ・ 市民、職員ともに使い勝手のいい施設になることを期待。そのため職員も若手や、市民についても小学生~大学生まで様々な意見をたずねる機会があればと感じた。
- ・ 点的なプロジェクトではなく、周辺に波及するシナリオが必要